

日本発ドイツ便り : Stadtstrand

夏の休みになると、ドイツ人は待ちかねたように、太陽を求めて、海辺に向かって移動します。

ドイツ人の平均的な夏休みが3週間。海辺での最大の目的は日光浴をしてのんびりすること。

(もうこの時点で、私には、どないなもんか想像つきません・・・)

家に庭やバルコニーがある人は、そこにパラソル立てて、ビーチチェア置いて日光浴しちゃうくらい、ドイツ人は日光浴大好きです。そしてそうやって、短い夏を楽しむのです。

(同じことを日本でやったら、間違いなく熱中症になると思うので、真似しないでくださいね。☺)

ただ、近年の働き方の多様化などなどの要因もあって、もちろん皆が夏に休みをとれるわけでもありません。そこでどんどん広がっているのが、街中でリゾート気分が味わえる Stadtstrand (シュタットシュトランド: 直訳すれば「街の中のビーチ」)。大体は川沿いなどにあります。

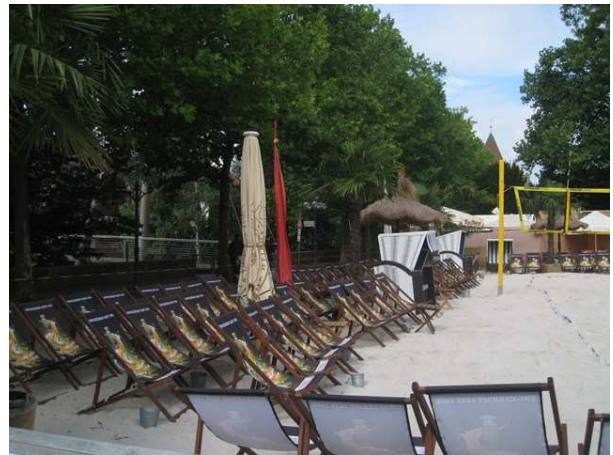
今年は残念ながら冷夏ですが、ニュルンベルクにも街の中心から少し歩いた河の中州にありました！



こんな橋を渡って中州にわたります。橋の上からの風景はこんな感じです。



朝早い時間で、まだオープン前だったので、賑わっている様子がわからないのが残念ですが、夕方通った時(カメラ持ってなかった!)は、えらく賑わっていましたよ。



足元はもちろんサラサラの砂浜。たくさんのパラソル、ビーチチェア。ビーチバレーだってできます。
Palme (パルメ : ヤシの木) もあって、雰囲気ばっちりです。



食べ物も充実。食べ物コーナーもちゃんと砂浜なので、会場全体を裸足で歩き回れるようになっています。
ドイツの代表的買い食いメニュー (焼きソーセージとかフライドポテトとか) はもちろん、南米の料理まで色々。軽食だけではなくて、ちゃんと食事もできるようになっています。
もちろんビールからコーヒーにケーキ・アイスまで何でもあります。

浅いプールの中にもテーブルがあって、そこだと椅子に座ると、ちょうど足が水に浸かるようになっているんです。(さすがに涼しかったので、その席は人気なかったですが、暑かったら大人気でしょうね)
日が暮れる頃にもなると (7月の日没は21:30すぎ位) 大勢の人で賑わっていました。

もうちょっと暑かったら、いや、せめて暖かったら、パラソルの下で、冷たいドリンク片手に、ビーチチェアにのんびり寝そべて本なんぞ読んで、ドイツ流の夏休みをちょっとばかり体験してみたかったですけどね。

まあ、次の機会の楽しみがあるのも良いもんです。

ドイツの街中でちょっとしたリゾート気分が味わえる Stadtstrand でした。

